

第3期 岐阜市教育振興基本計画(素案)

(期間:平成30年度からの5年間)

(本資料の位置づけ)

- ・現在、岐阜市教育委員会から諮問を受けた岐阜市教育振興基本計画検討委員会(以下「検討委員会」という。)において調査及び審議を行っています。
- ・本資料(「第3期岐阜市教育振興基本計画(素案)」)は、検討委員会から岐阜市教育委員会に対する答申(骨子)の素案の位置づけとなります。

(今後の策定に向けた手続き)

- ・今回のパブリックコメント手続きを経た後、年内に、検討委員会から岐阜市教育委員会に第3期岐阜市教育振興基本計画について答申いたします。その後、岐阜市教育委員会での審議を経て、平成29年度内に第3期岐阜市教育振興基本計画を策定する予定です。

はじめに①

- ◆ 教育基本法は、日本の教育の理念と原則を定める法律である。同法第17条は、この理念の実現に向けて、政府に対して、教育振興施策を総合的に推進するための基本方針や施策を定めた基本計画(教育振興基本計画)を策定する義務を課すとともに、地方公共団体に対して、地域の実情に応じて、教育振興基本計画の策定に努める義務を課している。
- ◆ 岐阜市が、平成25年度からの第2期岐阜市教育振興基本計画を策定してから、5年の計画期間が過ぎようとしている。その間、教育界全体を見渡すと、法改正によって、教育行政における責任体制の明確化や、地域の民意を代表する首長との連携強化など教育委員会制度の根幹に関わる改革が行われた。また、平成29年3月に、国から、小・中学校などで子どもに教える内容や目標の基準となる新たな学習指導要領が示された。周知期間を経て、小学校で平成32年度、中学校で平成33年度から全面実施される。

→はじめに②へ

はじめに ②

- ◆ 翻って岐阜市の社会状況は、人口が昭和60年以降減少傾向にあり、1人の女性が一生に産む子供の平均数を示す合計特殊出生率は、近年1.3から1.4程度を推移している。このままの状況が続いた場合、2060年には岐阜市の人口全体が34%程度減少(27.3万人)し、65歳以上人口割合を示す高齢化率は14%程度上昇して、37.8%(10.3万人)になると推計される(増減割合は、いずれも2010年比)。少子高齢化に伴う人口減少は、地域社会の担い手不足などの様々な課題を伴う。
- ◆ 第3期となる、平成30年度から5年間の岐阜市教育振興基本計画は、第2期の計画からの継続性を踏まえつつ、先に挙げた変化や課題を見据えながら、より一層岐阜市に根差したものとなることを目的として、第1編に、理念や価値観、重点とする事項を掲げ、第2編に、施策の推進に向けた基本的方向性や目標と具体的な取組みを記載した。
- ◆ 本計画に掲げた理念や価値観が幅広く共有され、岐阜市の教育が、多くの市民の参加・協力・支援を得てオール岐阜市で推進されることにより、岐阜市が、子どもも大人も輝くまちとして発展していくことを目指していく。

全体構成

第1編

- I 変化の時代を見据えて ※スライド7～12(右下の番号)
- II 教師の専門性の確立と尊重 ※スライド13～17
- III 響き合いによる“学びの循環” ※スライド18～21

第2編

- I 取組みの推進にあたって ※スライド23～26
- II 基本的方向性
 - 1 全ての子どもたちに将来社会を生きる力を培う教育 ※スライド28～38
 - 2 子どもたちの多様な個性や能力を肯定し活かす教育 ※スライド39～43
 - 3 全ての人が生涯を通じて学びやスポーツを楽しむための教育 ※スライド44～48
 - 4 子どもから大人まで生涯を通じて果敢に挑戦し、多様な生き方をするための教育 ※スライド49～53

第3編

- I これまでの経過 ※スライド55～58
- II 関連計画一覧 ※スライド59～60

基本的方向性の体系図

| 基本的方向性 | 目 標 | スライド |
|--|-----------------------------------|------|
| 1 全ての子どもたちに 将来社会を生きる力を培う教育 | 目標1: 確かな学力の育成 | 31 |
| | 目標2: 豊かな心、健やかな体の育成 | 32 |
| | 目標3: グローバル社会を生きる力の伸長 | 33 |
| | 目標4: 地域や家庭とともに歩む教育の推進 | 34 |
| | 目標5: 幼児教育の推進 | 35 |
| | 目標6: 学校マネジメント力を発揮できる体制の構築 | 36 |
| | 目標7: 学校安全の推進 | 37 |
| | 目標8: 放課後の居場所の確保と魅力の向上 | 38 |
| 2 子どもたちの多様な個性や能力を 肯定し活かす教育 | 目標9: 才能の芽を見出し伸ばす教育の推進 | 41 |
| | 目標10: 特別支援教育の推進 | 42 |
| | 目標11: 学びのセーフティネットの構築 | 43 |
| 3 全ての人 生涯を通じて学びやスポーツを楽しむための教育 | 目標12: 人が集う文化や情報の拠点化の推進 | 46 |
| | 目標13: 郷土資源の魅力の向上 | 47 |
| | 目標14: スポーツを身近に感じられる取組みの推進や環境の整備 | 48 |
| 4 子どもから大人まで生涯を通じて果敢に挑戦し、 多様な生き方をするための教育 | 目標15: 「やってみよう!」「やってみよう!」に応える機会の充実 | 51 |
| | 目標16: 輝く個性を広め支援する取組みの推進 | 52 |
| | 目標17: 青少年の居場所作りや社会との接点を保つ取組みの推進 | 53 |

第1編

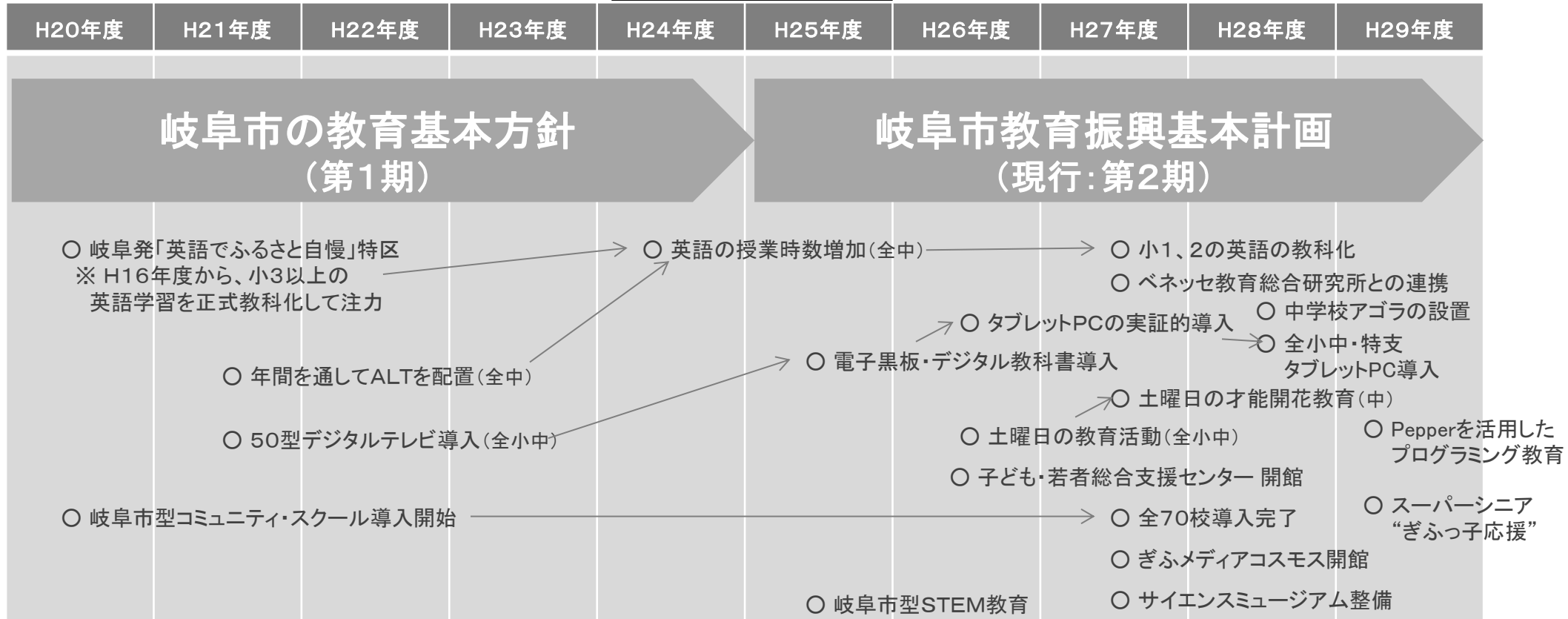
- I 変化の時代を見据えて ※スライド7～12
- II 教師の専門性の確立と尊重 ※スライド13～17
- III 響き合いによる“学びの循環” ※スライド18～21

I 変化の時代を見据えて

変化の時代を見据えて ①

- ◆ 岐阜市はこれまで、様々な取組みを先進的に実施してきた。
- ◆ 第2期岐阜市教育振興基本計画(平成25~29年度)の計画期間中に、英語教育の小学校1年生からの教科化やプログラミング教育などを国に先駆けて進めている。
- ◆ また、中央図書館を含む複合施設「みんなの森 ぎふメディアコスモス」が開館(H27.7.18)し、人々の知的な好奇心を満たすとともに、様々な活動を通じて交流を生み出す社会教育の拠点として機能している。

これまで推進してきた主な施策



※ 取組みの一部を抜粋 ※ ○の位置が事業開始年度

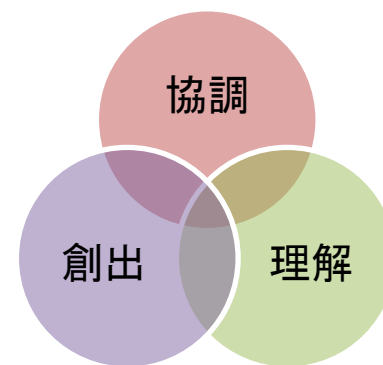
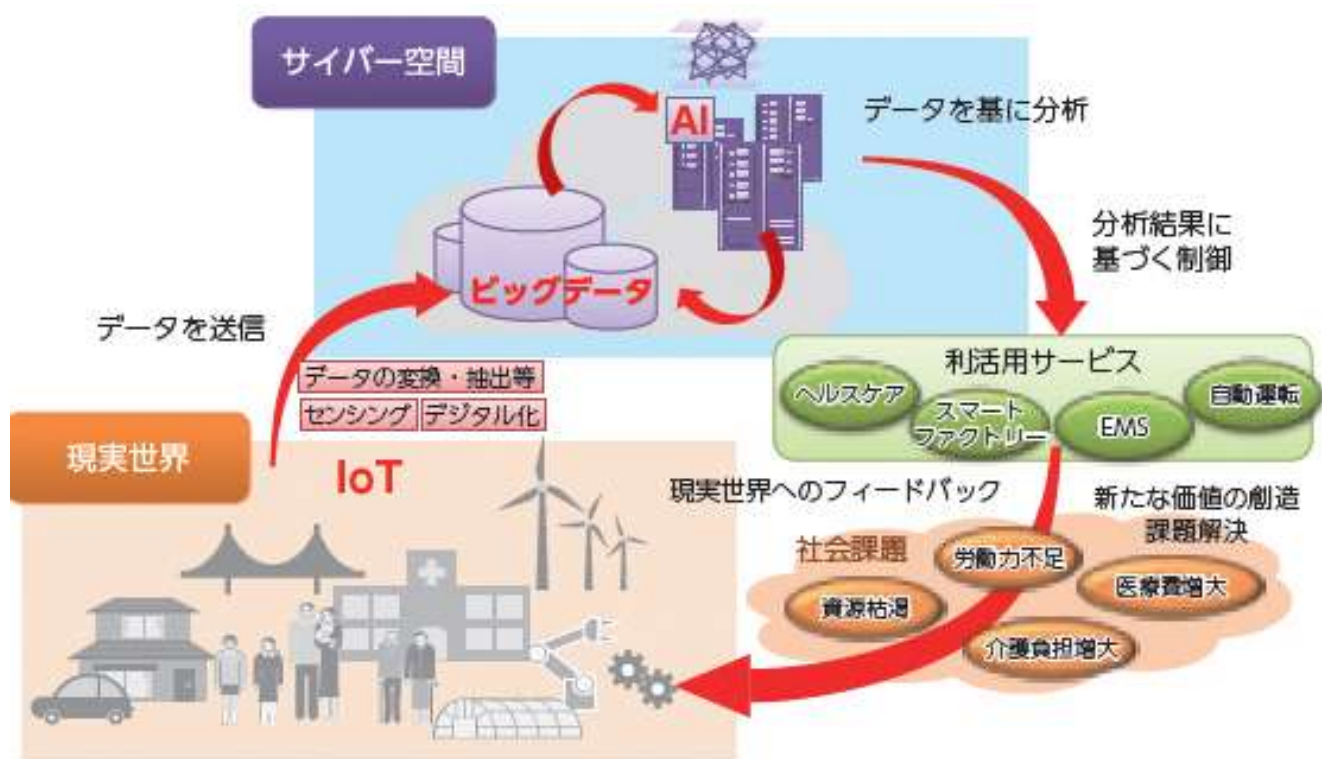
※関連資料:参考2(スライド4・5)

変化の時代を見据えて ②

- ◆ この計画期間中に、第4次産業革命(人工知能(AI)、IoTなどの進展)と呼ばれるほどの様々な技術革新によって社会の有り様が急激に変化している。
- ◆ 技術は日進月歩で進化し、2045年には人工知能(AI)が人間の知能を超えて、独自に進化を続けることとなるシンギュラリティが予想されている。
- ◆ そうした時代であるからこそ、人が人としてより幸せに生きるために、新たな価値を創造したり、互いの強みを活かしあうことで弱みを補完し合ったりすることが求められる。重要となるのは多様性やインクルージョン(一人ひとりを尊重し、様々な意見やアイデアを聴き入れること)である。

激増するデータ流通

人工知能やロボットによる代替可能性が低い職業



- ・芸術、歴史学・考古学、哲学・神学など抽象的な概念を整理・創出するための知識が要求される職業
- ・他者との協調や、他者の理解、説得、ネゴシエーション、サービス志向性が求められる職業

出所: 図表左は「平成29年版 情報通信白書のポイント」から転載(総務省)

図表右は株式会社野村総合研究所「日本の労働人口の49%が人工知能やロボット等で代替可能に」(H27年)に基づき作成

変化の時代を見据えて ③

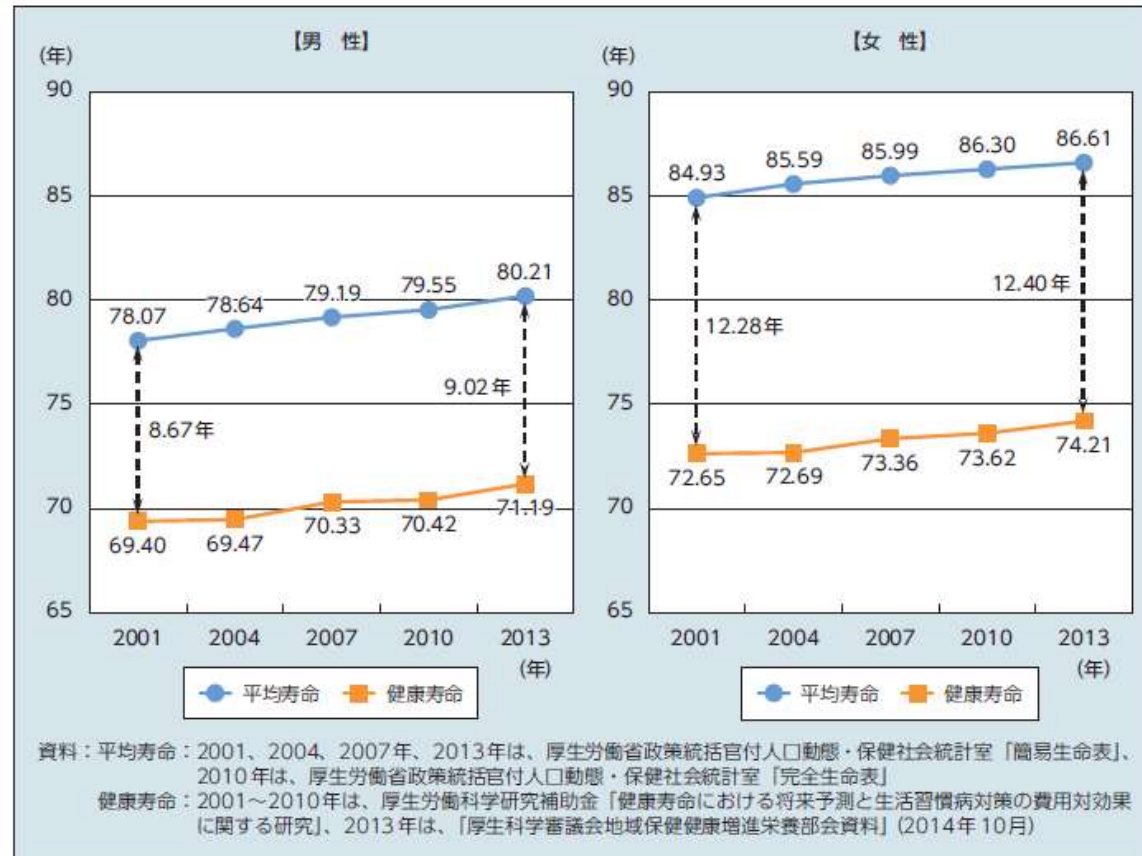
- ◆ また、日本は、健康寿命が世界一の長寿社会を迎えている。
- ◆ 海外の研究(リンダ・グラットンの著書「ライフシフト」で引用されている研究)を元にすれば、2007年に日本で生まれた子どもについては、107歳まで生きる確率が50%もある。
- ◆ 学校での学びを終えた後、社会に出てからも継続的に学び続けることやスポーツやレクリエーション活動を通じて健康を保持増進していくことが求められる。

世界の国と地域の健康寿命(上位5位まで)

| 順位 | 国名 | 健康寿命男女平均(歳) |
|----|--------|-------------|
| 1 | 日本 | 74.9 |
| 2 | シンガポール | 73.9 |
| 3 | 韓国 | 73.2 |
| 4 | スイス | 73.1 |
| 5 | イスラエル | 72.8 |
| 5 | イタリア | 72.8 |

※WHO加盟国194の国と地域を対象

平均寿命と健康寿命の推移



変化の時代を見据えて④

- ◆ このような社会情勢を踏まえて、岐阜市では、平成27年12月に岐阜市教育大綱を策定し、「夢と希望に満ちた未来の実現」に向け果敢に挑戦できる子どもを育むこととした。
- ◆ 基本方針として、①自ら学ぶ意欲、個性を磨く意欲を育む、②多様な人と協働し、考える力を育む、③地域・社会と関わる意欲を育むことを掲げた。
- ◆ 実施にあたっては、地域や保護者の皆様との協働、教員の指導力の向上を掲げた。

岐阜市教育大綱の概要

基本方針

地域や保護者の皆様とともに、「夢と希望に満ちた未来の実現」に向け、果敢に挑戦できる子どもを育む

- 1 自ら学ぶ意欲、個性を磨く意欲を育む
→学ぶ意義を理解させ、楽しさを実感させることにより、自ら積極的に学ぶ意欲、個性を磨く意欲を育む
- 2 多様な人と協働し、考える力を育む
→知識・技能の習(修)得とともに、課題の解決に向けて他者と協働し、考える力を育む
- 3 地域・社会と関わる意欲を育む
→地域・社会の課題に我が事として関わり、地域・社会をより良くしようとする意欲を育む

実施にあたって

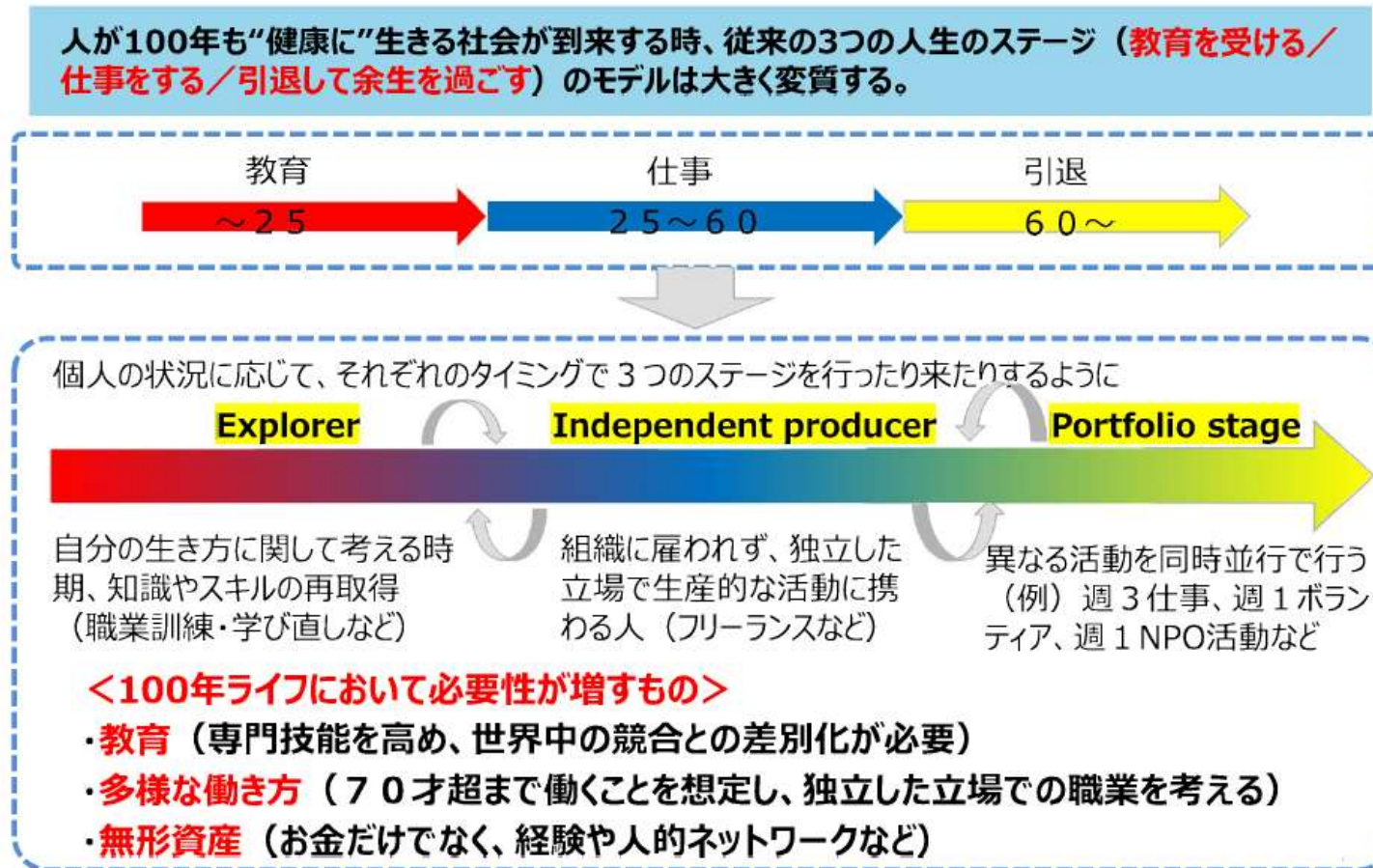
- ・地域や保護者の皆様との協働
- ・教員の指導力の向上

※大綱に期限の定めはないが、社会情勢の変化により、策定時には想定されなかった教育上の課題が新たに生じた場合は、迅速に大綱を見直していくこととしている

変化の時代を見据えて ⑤

- ◆ 大人もまた、人生100年時代と言われる社会にあって、常に成長途上であり、様々な機会を通じて学ぶ必要がある。
- ◆ 質の高い文化に触れたり、スポーツを楽しんだり、それらの活動を通じて人と交流したりすることが、充実した生活や人生の潤いにつながる。社会教育(主に大人の学びやスポーツ活動の充実など)を通じて、岐阜市が、生きがいを見つけ、人生を豊かに幸せに生きる人々が溢れるまちとなることを目指す。

LIFE SHIFT(H28 リンダ・グラットン、アンドリュー・スコット著)



Ⅱ 教師の専門性の確立と尊重

教師の専門性の確立と尊重 ①

- ◆ 次代の担い手を育む教師について、国際的な調査では、日本の教師の勤務時間が調査対象国中最長との結果が出されており、これからの時代を支える創造的な個性を磨く教育を実現するためには、教師が熱意をもって子供と向き合う時間に注力できる環境を整えることが課題となっている。

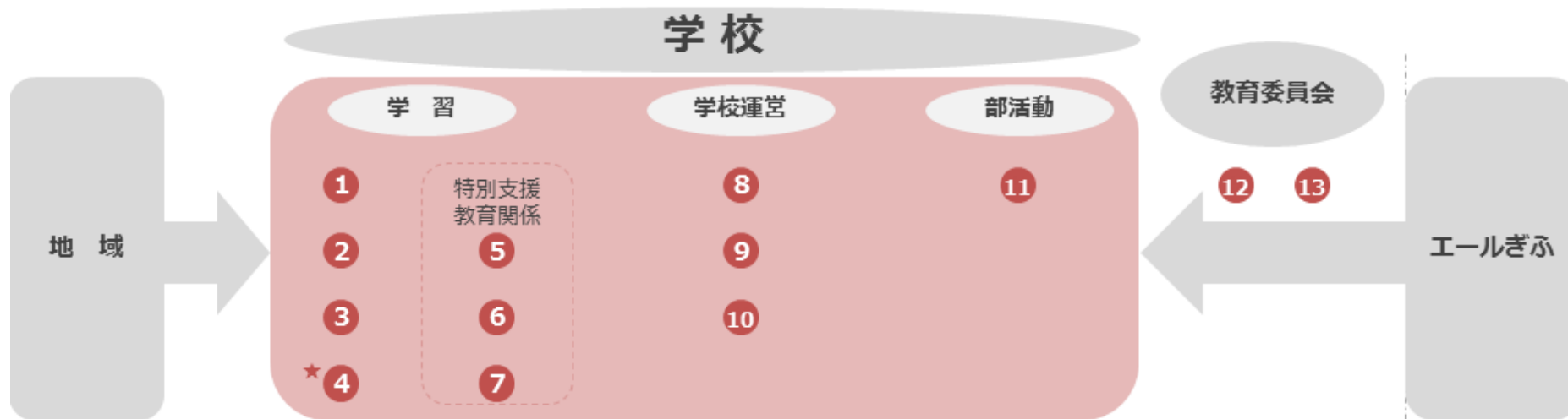
日本の教員の勤務時間



教師の専門性の確立と尊重 ②

- ◆ 岐阜市では、外国語学習において教師をサポートするALTやEF(イングリッシュ・フレンド)を配置したり理科授業において実験などの体験型学習をサポートするSTEM教員を配置したりするなど、専門スタッフなどの参画を得て、子どもたちの教育活動の充実に向けた体制構築を推進している。
- ◆ また、不登校やいじめ問題の対応を行うほほえみ相談員や、問題行動などへの指導援助や緊急時対応を担う生徒指導サポーターを配置するなど、教師が授業準備や教材研究に注力できる環境の構築を図っている。

岐阜市の学校支援体制(人的支援)



- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ① 外国語指導助手(ALT)…日本人教師とのTT授業など ② 小学校英語活動指導協力員(EF)…地域在住の外国人が授業補助 ③ STEM教員…理数クラブの年間指導等 ④ ICT支援員…機器設定等の授業支援 ⑤ ハートフルサポーター…配慮を要する児童へのきめ細かな指導 ⑥ 特別支援教育介助員…特別支援学級等に配置 ⑦ ハートフルティーチャー…取り出し指導の単独実施等 | <ul style="list-style-type: none"> ⑧ ほほえみ相談員…不登校やいじめ問題への対応 ⑨ 生徒指導サポーター…いじめや問題行動等への指導援助や緊急時対応 ⑩ 外国籍児童対応指導員…日本語指導が必要な外国籍児童への対応 ⑪ 部活動社会人指導者…地域社会の専門的な実技指導力を活用 ⑫ ぎふスーパーシニア教育CD…教育学講座の企画運営等 ⑬ サイバーパトロール臨時雇用員…学校掲示板のパトロール等 |
|---|--|

教師の専門性の確立と尊重 ③

- ◆ 今回の答申策定に先立ち、岐阜市内の中学生や高校生、大学生が参加して理想の学校について話し合うワークショップを開催したところ、生徒が主体となって仲間と共に体験したり話し合ったりする活動を求める声と並んで、学校で学ぶ内容と社会の出来事をつなげて話すことができるなど話題が豊富で魅力的な教師を期待する声が聞かれた。

ワークショップの概要



(出された意見から抜粋)

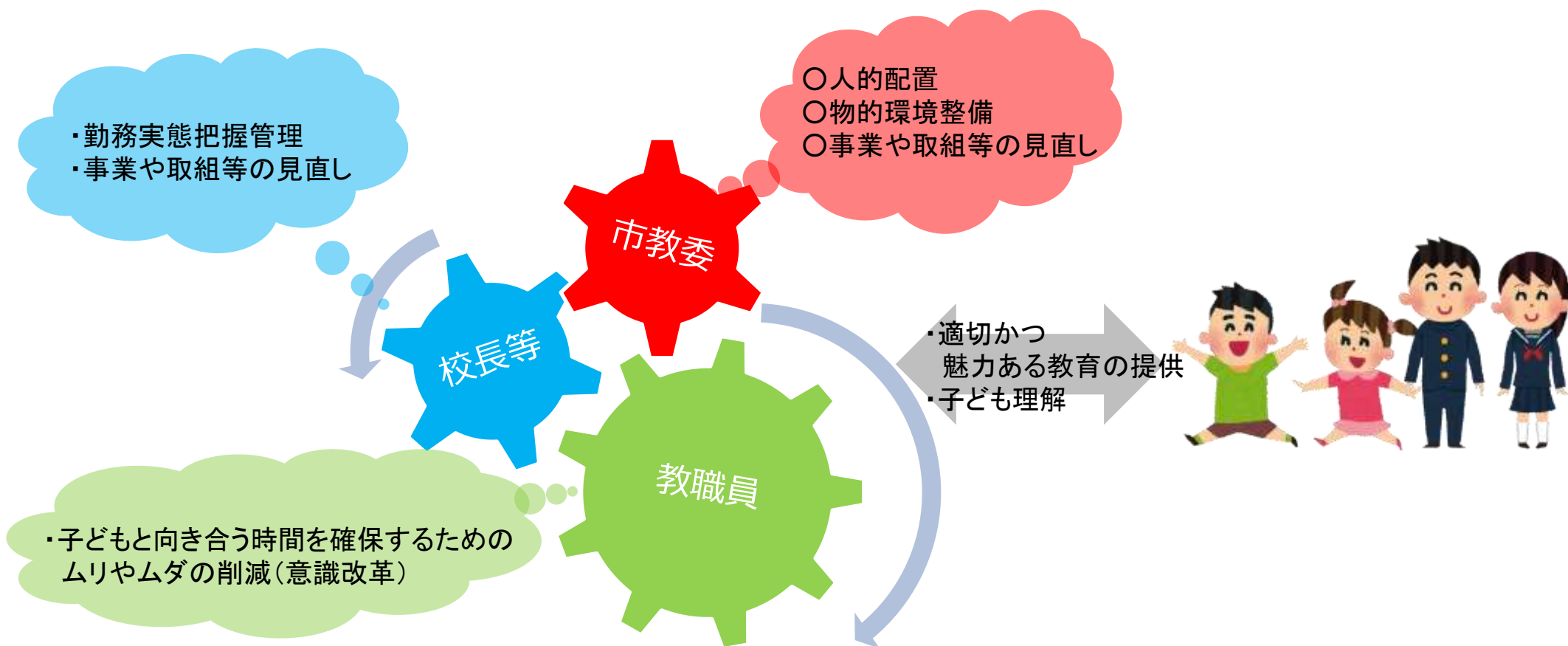
- ・先生のおもしろい話が聞ける授業や、理解しやすくなるような工夫が取り入れられた授業がよい
- ・実際の日常や身近な生活につながる話を先生から聞きたい
- ・先生の話がおもしろくて、生徒の質問にも丁寧に答えてもらえるとうい

- ・日 時:平成29年5月24日(水)16時30分～18時30分
- ・場 所:みんなの森 ぎふメディアコスモス(かんがえるスタジオ)
- ・参 加:中学生(岐阜市内6校)24名／高校生(岐阜高校)4名／大学生(岐阜大学)6名 計34名
- ・テーマ:行きたい、通いたいと思う学校のこと、考えてみよう
- ・共 催:国立大学法人岐阜大学 地域協学センター

教師の専門性の確立と尊重 ④

- ◆ 引き続き、教師が子どもと向き合う時間の確保に向けた取組みを推進するとともに、魅力溢れる教師を養成するため、教育委員会は学校現場とともに取り組んでいく必要がある。
- ◆ 学校や教師が各種専門家や専門機関と連携・分担する体制の整備に加えて学校マネジメントの工夫や、教職員の働き方に関する意識改革を働きかけていく。

イメージ：学校現場とともに



Ⅲ 響き合いによる“学びの循環”

響き合いによる“学びの循環”①

- ◆ 現代は、家族のありようの変化や価値観・ライフスタイルの多様化等によって、地域社会におけるつながりや支え合いが減少しているとされる。
- ◆ そうした社会環境において、学校は地域において自然に人が集まる場として存在している。
- ◆ 登校してくる子どもたちがいて、その子どもたちを送り出す保護者がいる。
通学路を見守る地域の人たちがいて、子どもたちを預かる教職員がいる。
- ◆ 学校という場を核として多くの人々が多様な機会に様々なつながりを有することとなる。

イメージ：学校を核とする多様なつながり



響き合いによる“学びの循環”②

- ◆ 岐阜市では、平成20年度以降、学校と地域がともに学校を運営することを趣旨とするコミュニティ・スクールの導入を進め、平成27年度には全小中・特別支援学校に学校運営協議会を設置し、様々な取組みを推進している。

岐阜市コミュニティ・スクール設置経緯

| 年度 | 小学校 | | 中学校 | |
|-----|------|--|------|---|
| | 新規校数 | 学校名 | 新規校数 | 学校名 |
| H20 | 1 | 岐阜 | | |
| H21 | 2 | 長良、長森南 | | |
| H22 | 2 | 黒野、岩野田北 | | |
| H23 | 1 | 合渡 | | |
| H24 | 2 | 方県、市橋 | | |
| H25 | 9 | 日野、三里、則武、常磐、七郷、 <u>厚見</u> 、早田、三輪南、芥見東 | 3 | 青山、 <u>藍川東</u> 、 <u>厚見</u> |
| H26 | 18 | 明郷、華陽、本荘、島、加納、加納西、長森北、茜部、岩、且格、芥見、三輪北、網代、 <u>藍川</u> 、長良東、長森西、長森東、柳津 | 8 | 岐阜中央、加納、岩野田、岐北、陽南、岐阜西、長森南、 <u>藍川北</u> |
| H27 | 12 | <u>徹明</u> 、白山、梅林、鷺山、 <u>木之本</u> 、木田、岩野田、鶉、西郷、鏡島、 <u>長良西</u> 、城西 | 11 | 岐阜清流、本荘、梅林、長森、島、精華、 <u>藍川</u> 、三輪、東長良、境川、 <u>長良</u> |
| 合計 | 47 | | 22 | |

※H29.4.1徹明小と木之本小を統合。徹明さくら小コミュニティ・スクールとして設置 ※岐阜特別支援学校は、H25.4.1設置

※小中合同コミュニティ・スクール：厚見小・厚見中(厚見学園CS)、長良西小・長良中(長良川学園CS)、藍川小・藍川北中、芥見東小・藍川東中

※関連資料
参考2(スライド6・7)

響き合いによる“学びの循環”③

- ◆ 地域社会の中で様々な人との関わりを通じた経験的な学びは、子どもたちが未来の社会を生き抜いていく上で大切な要素である。
- ◆ 子どもは大人の背中を見て育つ。
社会をよりよいものとしていくために何が必要かを大人自身が考え行動に移すことは、その背中を見て育つ子どもにとって代えがたい学びにつながる。
そのために、すべての大人が地域の教育者であることを期待したい。
- ◆ 大人も、子どもとの関わりの中で新たな学びの機会を得ることができる。
現在と未来の担い手が響き合い、学びが循環することで、子どもも大人も輝くまちにつながっていく。

イメージ: 学びの循環



※関連資料: 参考2(スライド8～10)

第2編

I 取組みの推進にあたって ※スライド23～26

II 基本的方向性

- 1 全ての子どもたちに将来社会を生きる力を培う教育 ※スライド28～38
- 2 子どもたちの多様な個性や能力を肯定し活かす教育 ※スライド39～43
- 3 全ての人が生涯を通じて学びやスポーツを楽しむための教育 ※スライド44～48
- 4 子どもから大人まで生涯を通じて果敢に挑戦し、多様な生き方をするための教育 ※スライド49～53

I 取組みの推進にあたって

取組みの推進にあたって①

- ◆ 岐阜市の教育における様々な取組みが、必要とされる場面や局面で適切に実施され効果的に展開されることを目指していく。
- ◆ そのために、取組みの主体となる者は、取組みを通じてどのような力を相手に身に付けてもらいたいと考えながら行うことが大切である。
- ◆ まずは、教育に係る取組みが求められる場面や局面を以下の二通りと捉え、指針として設定した。

教育における様々な取組みが求められる場面や局面における指針

■ **コモン**[※].....すべての人が等しく享受することができる場面や局面

■ **チャレンジ・サポート**...成し遂げるのが難しいと思われる事柄にあえて立ち向かったり、前を向いて一歩踏み出したかったり、困ったり悩んだりして何らかの支えが必要だったりする場面や局面



※コモン(英 common): (複数のものに)共通の、共有の、広く行きわたった、一般的な

取組みの推進にあたって ②

- ◆ 様々な取組みが、こうした場面や局面における多様な機会を保障するものと捉え、それぞれの場面や局面が、学校教育(学校内)と社会教育(学校外)のそれぞれに生じるとして、以下の4つの基本的方向性に基づき進めていく。

4つの基本的方向性

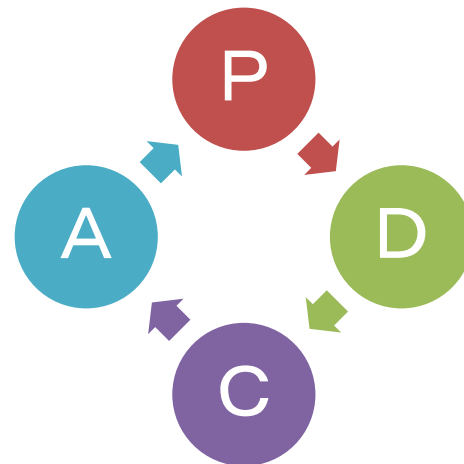
| | 基本的方向性 | コモン | チャレンジ・サポート |
|--------------------|--|-----|------------|
| 学校教育 ※ (学校内) | 1 全ての子どもたちに将来社会を生きる力を培う教育 | ○ | |
| | 2 子どもたちの多様な個性や能力を肯定し活かす教育 | | ○ |
| 社会教育 ※ (学校外) | 3 全ての人 が生涯を通じて学びやスポーツを楽しむための教育 | ○ | |
| | 4 子どもから大人まで生涯を通じて果敢に挑戦し、多様な生き方をするための教育 | | ○ |

※関連資料:参考2(スライド11)

取組みの推進にあたって ③

- ◆ 取組みの立案・改善・効果検証においては、効果が実証されている手法を活用したり、参考にしよう努めるとともに、PDCAサイクルの考え方にに基づき推進していく。
- ◆ そのための手法の一つとして、目標達成度を直接的又は間接的に測定するための指標の設定に努めていく。一方で、指標が必ずしも目標達成度を測定するものとはならなかったり、数値の達成が自己目的化され、本来の目指すべき状況とかい離したりする可能性に留意し、取組みの内容・性質に応じて、関係者からのアンケートやヒアリングなどによる質的評価に基づく立案・改善・効果検証を図ることも取組みの推進に有意義である。
- ◆ 取組みの評価にあたっては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)の規定による事務の点検及び評価の機会を活用して、第三者の知見を反映させながら客観的に行う。

PDCAサイクル



Plan(計画)
→ Do(実行)
→ Check(評価)
→ Act(改善)の4段階を繰り返すことによって、
取組みを継続的に改善

※関連資料:参考2(スライド12)

Ⅱ 基本的方向性

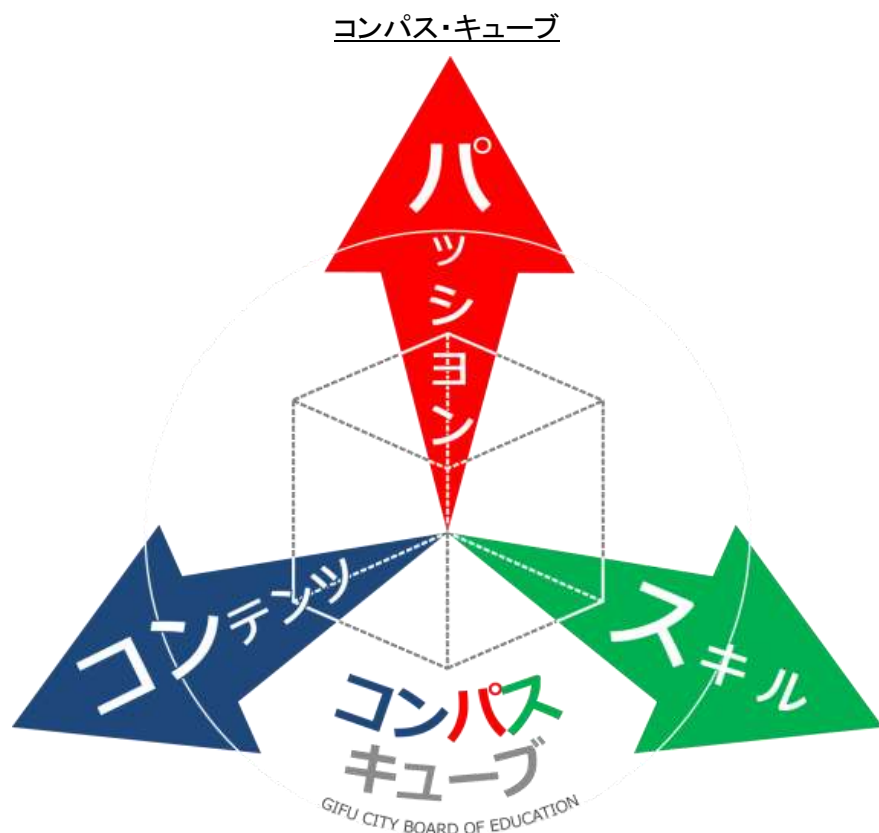
- 1 全ての子どもたちに将来社会を生きる力を培う教育
- 2 子どもたちの多様な個性や能力を肯定し活かす教育
- 3 全ての人が生涯を通じて学びやスポーツを楽しむための教育
- 4 子どもから大人まで生涯を通じて果敢に挑戦し、多様な生き方をするための教育

基本的方向性1

全ての子どもたちに
将来社会を生きる力を培う教育

全ての子どもたちに将来社会を生きる力を培う教育 ①

- ◆ 教育委員会において、岐阜市の教育で育むことを目指す力について独自の「コンパス・キューブ」モデルを平成27年度に作成し活用してきた。
- ◆ コンテンツ(基本的な知識や技能)、パッション(学びに向かう力など)、スキル(思考力、判断力、表現力など)を立方体の3つの軸として捉え、コンテンツだけでなく3つの軸をバランスよく伸ばすことにより、変化の激しい時代においても自ら考え、主体的に行動し、未来を切り拓いていける人を育むことを目指すものである。



▶ コンテンツ(Contents)

- 基本的な知識や技能

▶ パッション(Passion)

- 学ぼうとする意欲 ○ 社会に関わろうとする意欲 ○ 郷土への愛着 etc...

▶ スキル(Skill)

- 基本的な知識や技能を活用した思考力や判断力、表現力等(認知・思考)
- 社会の中で他人と交わり共に生活していくために必要な能力(社会)

※関連資料:参考2(スライド13)

全ての子どもたちに将来社会を生きる力を培う教育 ②

- ◆ こうした力の育成においては、教科の学びを基本とした教育活動全体において、地域や社会、郷土の資源を有効に活用しながら、バランスのとれたカリキュラムを目指していくことが重要である。
- ◆ 岐阜市は、学校における多様な教育を保障するとともに、その基礎となる人的・物的な環境整備を推進するなどして、全ての子どもたちに将来社会を生きる力を培う教育を進めていく。

基本的方向性1の構成

| 基本的方向性 | 目 標 | スライド |
|-------------------------------|---------------------------|------|
| 1 全ての子どもたちに 将来社会を生きる力を培う教育 | 目標1: 確かな学力の育成 | 31 |
| | 目標2: 豊かな心、健やかな体の育成 | 32 |
| | 目標3: グローバル社会を生きる力の伸長 | 33 |
| | 目標4: 地域や家庭とともに歩む教育の推進 | 34 |
| | 目標5: 幼児教育の推進 | 35 |
| | 目標6: 学校マネジメント力を発揮できる体制の構築 | 36 |
| | 目標7: 学校安全の推進 | 37 |
| | 目標8: 放課後の居場所の確保と魅力の向上 | 38 |

目標1：確かな学力の育成

- ◆ 人生100年時代を迎えた現代社会においては、生涯にわたって学び続ける姿勢が求められる。その基礎となる学校教育では、子どもたち自身が学ぶことの目的や意義を理解するための工夫を凝らしたり、機会を設けたりすることが求められる。
- ◆ 基礎的な知識や技能(コンテンツ)を身につけるとともに理解の質を向上させ、学びに向かう力(パッション)や思考力・創造力(スキル)などを含む、確かな学力の育成を図る。

具体的な取組み

| 取組み名 | 参考1※ | 複数項目で掲載 |
|---------------------------------------|------|---------|
| 学力向上ぎふプラン | 1 | |
| 「主体的・協働的な学びのあり方」推進事業 | 2 | |
| コンパス・カリキュラムの改善・活用の推進 | 3 | |
| 土曜日等の教育活動 | 4 | |
| 理数教育、ICT教育・情報教育、英語教育、キャリア教育、プログラミング教育 | 5～15 | 目標3 |

※添付資料の「参考1」に取組みの概要を記載しています。

目標2：豊かな心、健やかな体の育成

- ◆ 学校は、家庭環境などの異なる様々な子どもが集まっており、子どもたちが、学級や班での活動や異学年との交流の中で他者との考え方の違いに直面した際に、対話や議論の中で合意を形成する体験を通して成長するための機会に溢れた環境である。
- ◆ 教育の基盤である学級づくりなどを通じて、子どもが他者との関わりの中で互いに響き合い、個性に優劣がないことを認め、仲間とともに生きる自分への自信を持てるように育むとともに、コミュニケーションや感性・情緒、知的活動の基盤である言語活動や体験活動を充実させる必要がある。
- ◆ また、生涯にわたって継続的に運動に親しむことができる力を身に付けるため、学校体育の充実や地域と連携した学校部活動を推進していく。
- ◆ 子どもが、変化の激しい時代を生き、生涯にわたって継続して学び続けていけるよう、豊かな心、健やかな体の育成を図る。

具体的な取組み

| 取組み名 | 参考1 | 複数項目で掲載 |
|------------------------|-------|---------|
| 学校図書館の機能向上 | 16 | |
| 学校部活動の充実 ・部活動社会人指導者 | 17・18 | |
| 少年自然の家 | 19 | |
| 食育 | 20 | |
| 小児生活習慣病予防対策 | 21 | |

目標3: グローバル社会を生きる力の伸長

- ◆ 人や物、情報が旧来の地域や国家の枠を超えて地球規模に拡大し、様々な影響を及ぼすこととなるグローバル社会の到来が言われて久しい。子どもたちがこうした時代をたくましく生きぬいていくため各種取組みの立案・改善を図る。
- ◆ 国に先駆けて早期化・教科化を進めた英語教育については、今後ますます進む国際化社会におけるコミュニケーションツールとして依然重要な位置を占める。小中学校における9年間の学びを見通した指導方法の改善を推進する。
- ◆ 人工知能(AI)の進化をチャンスに捉え、高度化を促進しつつ、人間本来の知恵と能力を磨き、発揮していくことが重要である。既にあるものを増やしたり、大きくしたりすることは人工知能(AI)の仕事となり、無から有を生む、ゼロから1をつくることのできる創造力にあふれた人材が必要となる。そのためのツールの一つとして、プログラミングを効果的に活用するなどして、グローバル社会を生きる力の伸長を図る。

具体的な取組み

| 取組み名 | 参考1 | 複数項目で掲載 |
|------------|-------|---------|
| 理数教育 | 5 | 目標1 |
| ICT教育・情報教育 | 6～8 | 目標1 |
| 英語教育 | 9～11 | 目標1 |
| キャリア教育 | 12～14 | 目標1・4 |
| プログラミング教育 | 15 | 目標1・9 |

※関連資料: 参考2(スライド14)

目標4：地域や家庭とともに歩む教育の推進

- ◆ 変化の激しい社会が到来する中で、これからの社会の担い手として育っていく子ども一人ひとりが、自分の力を発揮することと、自己実現の喜びを一体として捉えられるようになることは、状況に応じて自ら考え行動する主体性を育み、社会と前向きに関わっていくことにつながる。そのことは、人生100年時代において、社会に出てからも学び続けていく姿勢につながる。
- ◆ そのために、学校での学びと社会との接続を意識するとともに、子どもたちの接する大人や社会が限られた世界で閉じてしまうことのないよう、学校教育が学校の中だけで完結するものではないことを念頭に置く必要がある。
- ◆ また、子どもの学びに向かう姿勢を育むために重要な位置を占める幼児期の教育において、家庭への情報提供を行うなどの子育て支援を進めるとともに、PTA連合会や青少年育成市民会議、子ども会育成連合会などとも連携しながら、地域や家庭とともに歩む教育の推進を図る。

具体的な取組み

| 取組み名 | 参考1 | 複数項目で掲載 |
|--------------------|-------|---------|
| コミュニティ・スクール | 22 | |
| 家庭教育学級 | 23 | |
| のびのび育てぎふっ子 | 24 | 目標5 |
| 家庭・地域と連携した防災教育推進事業 | 25 | 目標7 |
| スーパーシニア“ぎふっ子応援”事業 | 26 | 目標15 |
| キャリア教育 | 12～14 | 目標1・3 |

目標5: 幼児教育の推進

- ◆ 幼児期は、心情・意欲・態度・基本的な生活習慣など、生涯にわたる人間形成の基礎が培われる重要な時期であり、幼児は生活や遊びを通して、情緒的・知的な発達や社会性を育み、人間として社会の一員として生きるための基礎を獲得していく。
- ◆ 岐阜市は、平成29年度末で2幼稚園を設置している。加納、岐阜東幼稚園を拠点に、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を明確にししながら、小学校への接続を円滑にしていくための研究や成果の周知、子育て支援に向けて取り組むことにより、幼児教育の推進を図る。

具体的な取組み

| 取組み名 | 参考1 | 複数項目で掲載 |
|------------|-----|---------|
| のびのび育てぎふっ子 | 24 | 目標4 |
| 幼保小連携 | 27 | |

目標6：学校マネジメント力を発揮できる体制の構築

- ◆ グローバル化や情報化の進展などにより社会が大きく変化する中で、学校が直面する課題もまた複雑化・困難化しつつある。校長・園長のリーダーシップの下、子どもの姿や実態を捉えながら、学校組織をあげて取り組む必要がある。
- ◆ こうした時代において、学校には、先を見据えた視野や、学校内外を見渡す視野をもって、学校の経営資源や地域の人材・資源と教育内容をつなぎあわせながら、授業を含めた学校運営全体を工夫・改善していくことが求められる。
- ◆ また、これまでの実践の成果が教員間で世代を超えて引き継がれるよう留意するとともに、近年、学校において整備が進められたICT機器を活かした取組みなどにおいて、創意工夫や新たな発想を大切にしていこう姿勢が必要である。
- ◆ 学校の中核となる人材の育成やリーダーが活躍できる環境の整備、学校を人的・物的に支援する取組みを通じて、学校マネジメント力を発揮できる体制の構築を図る。

具体的な取組み

| 取組み名 | 参考1 | 複数項目で掲載 |
|-------------------|-------|---------|
| 学校リーダーの育成 | 28・29 | |
| (仮称)教職員サポートプランの実施 | 30 | |
| 小中一貫・連携 | 31 | |
| 小中学校の適正規模化・適正配置 | 32 | |

※関連資料：参考2(スライド15)

目標7：学校安全の推進

- ◆ 学校は、子どもが集い、子ども同士や、教職員などの大人との様々な学びの機会を通じて人格の形成がなされる場である。
- ◆ 子どもが日々の学校生活を笑顔で過ごし、安全に学べるようにするためには、子どもの安全の確保が保障されることが前提となる。
- ◆ また、子どもは守られるべき対象であることにとどまらず、学校での学び全体を通じ、社会生活の中で自らの安全を確保することのできる力を育んでいくことも求められる。
- ◆ 家庭や地域とも連携を図りながら、子どもの安全の確保を保障するため学校安全の推進を図る。

具体的な取組み

| 取組み名 | 参考1 | 複数項目で掲載 |
|--------------------|-----|---------|
| 学校施設管理 | 33 | |
| 老朽化対策 | 34 | |
| 家庭・地域と連携した防災教育推進事業 | 25 | 目標4 |
| 安全な通学路の確保 | 35 | |
| 「危険から自分を守ろう」事業 | 36 | |

目標8：放課後の居場所の確保と魅力の向上

- ◆ 大人のライフスタイルの多様化により、放課後の子どもの過ごし方も様々となっている。
- ◆ 家庭の子育てを支援する役割を担うため、学校や地域、家庭との連携を図りながら、放課後の居場所の質の向上と機能の充実にも努めていく必要がある。
- ◆ 放課後等を安全・安心に過ごすとともに、全ての子どもが多様な体験・活動を行うことができるよう、地域の参画を得ながら、安全・安心な放課後の居場所の確保と魅力の向上を図る。

具体的な取組み

| 取組み名 | 参考1 | 複数項目で掲載 |
|---|-----|---------|
| 放課後チャイルドコミュニティ ・放課後子ども教室 ・放課後学びの部屋 ・放課後児童クラブ ・放課後の学びの充実プロジェクト | 37 | |

基本的方向性2

子どもたちの多様な個性や能力を
肯定し活かす教育

子どもたちの多様な個性や能力を肯定し活かす教育

- ◆ 一人ひとりの幼児児童生徒が自分の良さや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められる。
- ◆ 岐阜市は、子どもたち一人ひとりが独自のフロンティアを切り拓いていけるよう取り巻く環境の整備を推進することにより、子どもたちの多様な個性や能力を肯定し活かす教育を進めていく。

基本的方向性2の構成

| 基本的方向性 | 目 標 | スライド |
|---------------------------|-----------------------|------|
| 2 子どもたちの多様な個性や能力を肯定し活かす教育 | 目標9: 才能の芽を見出し伸ばす教育の推進 | 41 |
| | 目標10: 特別支援教育の推進 | 42 |
| | 目標11: 学びのセーフティネットの構築 | 43 |

目標9：才能の芽を見出し伸ばす教育の推進

- ◆ これまでの学校教育では、多様な個性や能力のある子どもたちが十分には力を発揮・伸長することが難しかったが、今後はその個性や能力をより尊重し、磨き高めることに重点を置く必要がある。
- ◆ 学校・地域・家庭が連携し、子どもたちが多様な個性や能力を開花・伸長できるよう、必要な人(専門家、プロなど)やモノ、出来事などの環境を整えることで才能の芽を見出し伸ばす教育の推進を図る。

具体的な取組み

| 取組み名 | 参考1 | 複数項目で掲載 |
|-------------------|-----|---------|
| 土曜日の才能開花教育“ギフトッド” | 38 | |
| プログラミング教育 | 15 | 目標1・3 |
| 学校跡地活用 | 39 | 目標10・11 |

目標10: 特別支援教育の推進

- ◆ 障がいのある子どもについて、一人ひとりの障がいの状態やニーズに応じて、その可能性を最大限に伸ばし、自立と社会参加に必要な力を培う特別支援教育の推進が必要である。
- ◆ また、多様性の中で一人ひとりを尊重し、個々の違いを認識しつつ様々な人々が生き生きと活躍できる社会を目指すうえで、特別支援教育の推進は大きな意味を有する。
- ◆ 配慮を要する児童生徒が在籍する通常学級にハートフルサポーターやハートフルティーチャーを配置し、個別の支援や取り出し指導の授業を実施するとともに、エールぎふとの連携を図りながら、特別支援教育の推進を図る。

具体的な取組み

| 取組み名 | 参考1 | 複数項目で掲載 |
|-------------|-----|---------|
| ハートフルティーチャー | 40 | |
| ハートフルサポーター | 41 | |
| 特別支援教育介助員 | 42 | |
| 学校跡地活用 | 39 | 目標9・11 |
| エールぎふとの連携 | 43 | 目標11・17 |

目標11：学びのセーフティネットの構築

- ◆ 全ての子どもが有意義で充実した学校生活を送るための環境を整える必要がある。
- ◆ いじめは、特定の子どもに特有の問題があることによって起こることではなく、どの学校でも、どの子にも起こり得る問題であることを十分に認識し、学校と教育委員会が連携して対応していく。
- ◆ いじめのほか、不登校、非行、日本語対応など学習や生活に困難を有する子ども、保護者や学校教職員に対しても、エールぎふや関係機関と連携しながら支援を図っていく。
- ◆ また、経済的な理由から教育を受けることが困難な子どもも、その希望する教育を受けられるよう、子どもの就学を支援するなどして、学びのセーフティネットの構築を図る。

具体的な取組み

| 取組み名 | 参考1 | 複数項目で掲載 |
|---------------------|-----|---------|
| いじめ防止 | 44 | |
| ほほえみ相談員 | 45 | |
| 生徒指導サポーター | 46 | |
| 外国籍児童生徒等対応指導員 | 47 | |
| 学校跡地活用 | 39 | 目標9・10 |
| エールぎふとの連携 | 43 | 目標10・17 |
| 要保護及び準要保護児童生徒援助費補助金 | 48 | |

※関連資料：参考2(スライド16)

基本的方向性3

全ての人が生涯を通じて
学びやスポーツを楽しむための教育

- ◆ 人生100年時代においては、生涯にわたって自身のライフプランを考えるとともに、学び続ける中で新たな知識やスキルを得て、多様な活躍ができるようになることが求められる。
- ◆ 子どもも大人も必要な知識や技能を学び、活用するとともに、スポーツやレクリエーション活動を通じて健康を保持・増進して人生を豊かに生きられるよう環境を整備するとともに、社会教育関係諸団体とも連携を図るなどして、学びやスポーツを楽しむ気運を醸成していく必要がある。
- ◆ また、岐阜市で暮らし生活を営むことに誇りや満足を得られる環境を築いていくことは、住まう人々の日常への満足感につながるとともに、知的好奇心を刺激し、更なる学びの好循環を生み出していく。
- ◆ 岐阜市は、質の高い文化や本物に触れる機会の提供などを通じて、全ての人が生涯を通じて学びやスポーツを楽しむための教育を進めていく。

基本的方向性3の構成

| 基本的方向性 | 目 標 | スライド |
|-----------------------------------|---------------------------------|------|
| 3 全ての人が 生涯を通じて学びやスポーツを楽しむための教育 | 目標12: 人が集う文化や情報の拠点化の推進 | 46 |
| | 目標13: 郷土資源の魅力の向上 | 47 |
| | 目標14: スポーツを身近に感じられる取組みの推進や環境の整備 | 48 |

目標12：人が集う文化や情報の拠点化の推進

- ◆ 人は、質の高い文化や情報に実際に触れることによって精神的な充足感を得るとともに、知識を蓄え、感性や創造性を育む。過去からのこうした人の営みが、今日の私たちの社会における科学技術の発展と文化芸術の振興に結実している。
- ◆ 公民館や図書館、科学館、歴史博物館がそれぞれの機能や特性を発揮し、市民の皆さんの知的好奇心に応えとともに、多様な人々の交流の場として機能することで、生涯を通じた継続的な学びを後押ししていく。
- ◆ また、人が集い交流することで人々の学び合いが生まれ、その輪の中で新たな気づきや多様な視点を人々が得ることで、学びが深まる好循環につながっていく。
- ◆ 公民館や図書館、科学館、歴史博物館が社会教育を担う場の中核として、それぞれの機能や特性を磨き高めることで、人が集う文化や情報の拠点化の推進を図る。

具体的な取組み

| 取組み名 | 参考1 | 複数項目で掲載 |
|-------|-----|---------|
| 公民館 | 49 | |
| 図書館 | 50 | |
| 科学館 | 51 | |
| 歴史博物館 | 52 | |

目標13: 郷土資源の魅力の向上

- ◆ 郷土の伝統・文化に触れることにより、人々がまちへの誇りや愛着を深め、岐阜市民としてのアイデンティティーを確かなものにするとともに、連帯感を強化することが期待できる。
- ◆ また、身近に伝統や文化、美しい景観を生み出す自然を感じることができる環境は、暮らす人々に精神的な満足や潤いをもたらし、人生を豊かに生きることにつながっていく。
- ◆ 郷土の伝統・文化・自然などに新たな価値づけや意味づけを行いそれらを磨き上げるとともに、将来世代に確かな形として引き継いでいくことを通じて郷土資源の魅力の向上を図る。

具体的な取組み

| 取組み名 | 参考1 | 複数項目で掲載 |
|------------------------|-----|---------|
| 「信長公のおもてなし」推進事業 | 53 | |
| 織田信長公居館跡発掘調査 | 54 | |
| 長良川鶉飼習俗調査、長良川中流域の文化的景観 | 55 | |

- ◆ 子どもたちのスポーツに対する多様なニーズに応えるために、地域との連携を密にして社会体育の充実を測り、将来の地域スポーツ振興やまちづくりの主役となる子どもたちの健全育成が必要である。
- ◆ 市民のスポーツ活動の基盤としての役割を担えるよう、スポーツ活動の担い手づくり、施設の機能充実などスポーツ環境の整備を行うとともに、体育施設の利用促進やサービスの向上を目指して、管理・運営の体制強化を推進しスポーツを身近に感じられる取組みの推進や環境の整備を図る。

具体的な取組み

| 取組み名 | 参考1 | 複数項目で掲載 |
|------------|-----|---------|
| スポーツ少年団 | 56 | |
| スポーツイベント | 57 | |
| 学校等体育施設の開放 | 58 | |
| スポーツ施設 | 59 | |

基本的方向性4

子どもから大人まで
生涯を通じて果敢に挑戦し、
多様な生き方をするための教育

- ◆ 国全体でチャレンジングスピリットが求められている。
- ◆ 政府は成長戦略を掲げ、新しいことにチャレンジしやすい世の中の実現を目指している。
- ◆ 世界に羽ばたく子どもたちを後押ししたり(文部科学省「トビタテ」留学プロジェクトなど)、若者の起業や再チャレンジを促進したり(経済産業省「始動」など)、シニアの学び直しを推進したりと、「多様な機会ある社会」の構築へ舵を切っている。
- ◆ 生きがいとは与えられるものではなく発見するものであり、様々な機会の提供を通じて挑戦や生きがいを応援するとともに、誰もが社会の担い手となるための支援の充実を推進することにより、子どもから大人まで生涯を通じて果敢に挑戦し、多様な生き方をするための教育を進めていく。

基本的方向性4の構成

| 基本的方向性 | 目 標 | スライド |
|--|----------------------------------|------|
| 4 子どもから大人まで生涯を通じて果敢に挑戦し、多様な生き方をするための教育 | 目標15:「やってみたい!」「やってみよう!」に応える機会の充実 | 51 |
| | 目標16:輝く個性を広め支援する取組みの推進 | 52 |
| | 目標17:青少年の居場所作りや社会との接点を保つ取組みの推進 | 53 |

- ◆ 日常から一歩踏み出して新しい何かに取り組むことは、人が大きく成長を遂げることのできる機会である。
- ◆ 美しいものを見て喜んだり、
興味関心で自由に行動したりといった側面を大事にして多様な経験を積むことにより、
自分で見たり聞いたり触れたりして得ることのできる一次情報を獲得でき、
そうした体験の蓄積によって、考え方や感性などの人の根幹となる部分が育まれる。
- ◆ また、インターネットやバーチャルリアリティなどを介した間接的・模擬的な学びなど、
近年の科学技術の発達によって様々な学びの可能性が広がりにつつある。
- ◆ 体験を重視した様々な取組みにより、
市民の皆さんの「やってみたい!」や「やってみよう!」に応える機会の充実を図る。

具体的な取組み

| 取組み名 | 参考1 | 複数項目で掲載 |
|----------------------|-----|---------|
| イングリッシュ・キャンプ in GIFU | 60 | |
| ぎふサイエンス・キャンプ | 61 | |
| 子ども司書養成講座 | 62 | |
| 青少年会館 | 63 | 目標17 |
| スーパーシニア“ぎふっ子応援”事業 | 26 | 目標4 |
| 学校跡地活用 | 39 | 目標9～11 |

目標16：輝く個性を広め支援する取組みの推進

- ◆ 市民として、岐阜市で生まれたり暮らしたりしたなどのゆかりある人がスポーツや文化芸術など社会の様々な分野で活躍することを誇らしく感じる。
- ◆ 子どもにとっても、自身にとって身近な環境において努力し技術を磨いた結果として、社会の中で存在感を発揮している事実は大いに勇気づけられるものであるとともに、技術を間近で見たり指導を受けたりすることで夢を膨らませることにもつながっていく。
- ◆ そうした活躍を応援し、広く市民の皆さんに伝えるとともに、本人の技術や競技力の向上に向けた取組みにかかる金銭的負担を軽減するなどして、輝く個性を広め支援する取組みの推進を図る。

具体的な取組み

| 取組み名 | 参考1 | 複数項目で掲載 |
|------------------------|-----|---------|
| 岐阜市アスリート「夢・志」サポート事業 | 64 | |
| スポーツリーダー活用事業 | 65 | |
| ジュニアアーティスト・トップランナー支援事業 | 66 | |

- ◆ 学校や職場などの集団の中での人間関係に悩みを抱えたことなどをきっかけとして、不登校や、ひきこもりなどの状況に至ることがある。
- ◆ 自分ひとりで悩みを抱え込み続けることにより、ますます状況が悪化してしまう可能性がある。
- ◆ 青少年会館を核として、エールぎふとの連携を強化するなどして、社会的自立支援に向けた青少年の居場所作りや社会との接点を保つ取組みの推進を図る。

具体的な取組み

| 取組み名 | 参考1 | 複数項目で掲載 |
|-----------|-----|---------|
| 青少年会館 | 63 | 目標15 |
| エールぎふとの連携 | 43 | 目標10・11 |

第3編

- I これまでの経過 ※スライド55～58
- II 関連計画一覧 ※スライド59～60

I これまでの経過

これまでの経過 ①

- ◆ 教育基本法(平成18年法律第120号)第17条第2項の規定に基づき、地方公共団体は、その地域の実情に応じ、当該地方公共団体における教育の振興のための施策に関する基本的な計画を定めるよう努めるものとされている。
- ◆ 岐阜市では、教育委員会が平成29年第4回・第5回定例会の2回にわたり審議を行い、岐阜市附属機関設置条例(平成25年岐阜市条例第7号)に基づき設置された岐阜市教育振興基本計画検討委員会(以下「検討委員会」という。)に対して、第3期岐阜市教育振興基本計画の策定について諮問した。

岐阜市教育振興基本計画検討委員会委員名簿

| 氏名 | 所属・役職 |
|-------------|-------------------------|
| 今井 亜湖(委員長) | 岐阜大学教育学部 准教授 |
| 岡田 芳子 | 岐阜市小中学校長会 校長 |
| 小森 正悟 | 岐阜県弁護士会 弁護士 |
| 嶋津 恵子 | 岐阜市PTA連合会 岐阜市社会教育委員 |
| 杉田 憲夫 | 認定NPO法人岐阜いのちの電話協会理事長 医師 |
| 高木 俊明 | 岐阜県高等学校長会 校長 |
| 長瀬 幸泰(副委員長) | 株式会社ナガセインテグレックス 代表取締役社長 |
| 南出 吉祥 | 岐阜大学地域科学部 |
| 吉澤 寛之 | 岐阜大学大学院教育学研究科 准教授 |

※敬称略:50音順

これまでの経過 ②

- ◆ 教育委員会の諮問を受け、
検討委員会において平成29年度中に4回の会議を開催(予定)し、調査及び審議を行った。

検討委員会の開催概要

| 年月日 | 内 容 |
|---|---|
| 平成29年6月7日(水) 於:みんなの森ぎふメディアコスモス | <ul style="list-style-type: none"> ・計画の前提となる考え方の確認 ・計画の柱立て等に関するイメージ |
| 平成29年8月30日(水) 於:旧徹明小学校 | <ul style="list-style-type: none"> ・第1回会議の審議内容まとめ ・計画(たたき台)に関する審議 |
| 平成29年10月19日(木) 於:中央青少年会館 | <ul style="list-style-type: none"> ・第2回会議の審議内容まとめ ・計画(答申骨子)に関する審議 |
| (予定)平成29年12月21日(木) 於:みんなの森ぎふメディアコスモス | <ul style="list-style-type: none"> ・第3回会議の審議内容まとめ ・計画(答申)に関する審議・決定 |

これまでの経過 ③

◆ 下記のとおり広く意見を聴く機会を設けた。

中・高・大学生を対象としたワークショップの開催概要

| | |
|-----|---|
| テーマ | 行きたい、通いたいと思う学校のこと、考えてみよう |
| 日時 | 平成29年5月24日(水)16時30分～18時30分 |
| 場所 | みんなの森 ぎふメディアコスモス(かんがえるスタジオ) |
| 参加 | 中学生(岐阜市内6校)24名 高校生(岐阜高校)4名 大学生(岐阜大学)6名 計34名 |
| 共催 | 国立大学法人岐阜大学 地域協学センター |

パブリック・コメントの実施 (答申:骨子)第3期岐阜市教育振興基本計画について

| | |
|----|---------------------------|
| 案件 | (答申:骨子)第3期岐阜市教育振興基本計画について |
| 期間 | 平成29年11月1日(水)～11月30日(木) |

※今次のパブリック・コメントを指している

Ⅱ 関連計画一覧

関連計画一覧

- ◆ 本計画の実施にあたっては、下記の計画との整合性を図るとともに、関係部局との連携・調整に努めるものとする。

関連計画一覧

| 名 称 | 策定・改訂年月 | 期 間 ※2 |
|---------------------|---------|-----------|
| 岐阜市生涯学習基本計画 ※1 | 平成30年3月 | 平成30～39年度 |
| 岐阜市スポーツ推進計画 | 平成25年3月 | 平成25～34年度 |
| 岐阜市幼児教育振興指針 | 平成16年3月 | 定めなし |
| 岐阜市芸術文化振興指針 ※1 | 平成30年3月 | 平成30～39年度 |
| 岐阜市子ども・子育て支援事業計画 | 平成27年3月 | 平成27～31年度 |
| 岐阜市子ども・若者生き生きプラン ※1 | 平成30年3月 | 平成30～34年度 |
| 岐阜市子どもの読書活動推進計画 | 平成29年3月 | 平成29～33年度 |

※1:現在改訂作業中のため、適宜情報を共有しながら策定事務を進行

※2:直近の計画期間のみ